

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県民芸術文化祭では、総行事数223行事、入場者総数345,172人と高い水準となるほか、開幕行事・閉幕行事がともに、主催団体の50周年の記念行事ということから、半世紀に亘る歴史に裏打ちされた素晴らしい公演となり、文化の香り高いふるさと大分の実現に寄与することができた。
②	・大分アジア彫刻展は公募年であったので、募集に力をいれるとともに過去の受賞作品の紹介展等を県内で実施(来場者4,568人)したことにより、県民に優れた芸術作品の鑑賞機会を提供できた。 ・まちなかアートギャラリーでは絵画展示51団体、パフォーマンス21団体、ワークショップ18団体が参加し中心部商店街でアートイベントを実施することで多くの県民が参加しアートに親しむ場を作ることができた。
③	・国東半島アートプロジェクトでは、国際的に活躍するアーティストによる作品展示や地域の新たな魅力を引き出すアートイベントの実施により、多種多様な文化芸術の鑑賞・体験の機会を創出することができた。
④	・本体工事を着実に進めるとともに、新たに、ペDESTリアンデッキ工事や、屋内外展示品の制作、美術館情報システムの開発にかかる契約を締結した。また、まちなか支局における美術館の情報提供やワークショップ等を通じて、県民の美術に対する関心を高めるとともに、開館に向けた広報を行った。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
②	別府アルゲリッチ音楽祭開催事業	31,592	継続	21
	大分アジア彫刻展	8,900	継続	22
	まちなかアートギャラリー推進事業	15,783	継続	249
③	国東半島アートプロジェクト2013開催事業	97,274	継続	23
④	県立美術館建設事業	4,619,876	継続	24

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県文化振興県民会議 (H25.5.15)</p> <p>・NPO法人芸術文化振興会議が行っている文化キャラバンに加え、芸術文化ゾーンでも子どもが文化により親しむことができるような企画ができるスタッフを育成していく取組が必要。</p> <p>・大分県固有の歴史に根付いた伝統文化と現代アートが連携した国東半島芸術祭のようなプロジェクトと県立美術館の積極的な連携により、大分でしかできない企画をする美術館となるとよい。</p>	<p>○大分県経済同友会提言 (H26.4.21)</p> <p>・アートと地域住民の出会いと対話の機会を設けるような取組を行うことで、芸術文化を地域が抱える社会問題の解決に活かせるとよい。</p>
---	---

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・引き続き、多様で優れた芸術文化の鑑賞機会の提供、県民参加による文化活動の促進、次代の文化の担い手づくり、新しい美術館の整備などに取り組む。</p> <p>・これらに加え、芸術文化の振興のみならず、芸術文化を活用した社会的・経済的な課題への対応も求められていることから、美術館とiichiko総合文化センターを県全体の芸術文化の拠点(芸術文化ゾーン)として、様々な芸術文化の出会いと融合による新たな価値の創造、また、芸術文化関係団体をはじめ、教育、産業、福祉、医療など様々な分野の団体等との連携などに取り組む。</p>